

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

湯前町まち・ひと・しごと創生推進交付金計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

熊本県球磨郡湯前町

3 地域再生計画の区域

熊本県球磨郡湯前町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の総人口は昭和 55 (1980) 年の 6,038 人から減少傾向が続き、令和 2 (2020) 年の総人口は 3,627 人とまで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると令和 22 (2040) 年には 2,352 人、令和 32 (2050) 年には 1,809 人となる見込みである。年齢 3 区分別の人口をみると、年少人口 (00 歳～14 歳) は昭和 55 (1980) 年の 1,315 人をピークに減少し、令和 12 (2030) 年には 211 人となる一方、老年人口 (65 歳以上) は昭和 55 (1980) 年の 832 人から令和 12 (2030) 年には 1,516 人と増加しており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口 (15 歳～64 歳) も昭和 55 (1980) 年の 3,891 人をピークに減少傾向にあり、令和 12 (2030) 年には 1,223 人となっている。

自然動態をみると、出生数は平成 22 (2010) 年の 32 人から減少し、令和 5 (2023) 年には 17 人となっている。その一方で、死亡者数は令和 5 (2023) 年には 90 人であり、出生数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲70 人 (自然減) となっている。

社会動態をみると、平成 22 (2010) 年は転入数 101 人に対し転出数 137 人で▲37 人 (社会減) となっており、令和 5 (2023) 年も同様に転入者数 91 人に対し転出数 138 人で▲21 人 (社会減) となっている。

このように、人口の減少は出生数の減少 (自然減) や、転出者数の増加 (社会減) 等が原因と考えられる。

人口減少が進むことで、商店、医療機関、福祉施設などの利用者が少なくなり、現在のサービスの維持が難しくなり、地域経済や住民生活に深刻な影響を及ぼす可能性がある。

このような人口減少問題を解決するための施策を推進し、人口減少と地域経済縮小の克服、湯前町における「しごと」と「ひと」の好循環と、その好循環を支える「まち」の活性化を実現し、地域経済の活性化や地域活力の向上を目指す。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 力強い産業としごとの創生
- ・基本目標 2 誇れる・選ばれるまち創生
- ・基本目標 3 未来を担う若い世代の希望創生

【数値目標】

5-3の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	サテライトオフィス及びコワーキングスペース利用者数	0人	1,000人	基本目標 1
イ	企業誘致数	1件	11件 (累計)	基本目標 2
ウ	観光入込客数	122,589人	206,880人	基本目標 2

※ 令和6年度に実施した事業の効果検証については、第2期湯前町総合戦略に記載の数値目標を活用する。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生交付金（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））の活用（内閣府）：【A3017】

① 事業の名称

湯前町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 力強い産業としごと創生事業

イ 誇れる・選ばれるまち創生事業

ウ 未来を担う若い世代の希望創生事業

② 事業の内容

ア 力強い産業としごと創生事業

本町の基幹産業である農林業をはじめ、商工業の事業所や就業者等への支援や創業の促進等により地域産業力の向上を図るとともに、若者や女性をはじめとする町民が安心して働けるよう雇用環境の整備を図る事業。

【具体的な事業】

- ・ 農業機械・施設導入支援事業
- ・ 森林整備事業 等

イ 誇れる・選ばれるまち創生事業

本町における豊かな地域資源を活用し、本町独自の魅力づくりを行うとともに、その魅力を町内外に積極的に発信することで、人の流れとまちのにぎわいを創出する事業。また、災害に強いまちづくりの推進や医療福祉の充実など、住民の住みよさ実感を向上させることにより移住・定住を促進する事業。

【具体的な事業】

- ・ 終着駅効果と地域資源を活用した若者が魅力を感じるまちづくり事業
- ・ 人吉球磨広域観光連携事業 等

ウ 未来を担う若い世代の希望創生事業

本町の将来を担う若い世代が希望を持って子どもを生き育てられるように、ライフステージに応じた切れ目のない支援による環境づくりに取り組むとともに、小中一貫教育をはじめ、本町ならではの特色を活かした質の高い教育の確立により、人間性豊かな「生きる力」をもった子どもの育成を目指す事業。

【具体的な事業】

- ・ 民間企業を活用した出会いの場の創出事業
- ・ 不妊治療費助成事業 等

※ なお、詳細は第2期湯前町総合戦略のとおり

- ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））
第2期湯前町総合戦略に記載の【数値目標】に同じ。
- ④ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）
毎年5月に外部有識者を含む「湯前町人口ビジョン・総合戦略策定委員会」により検証を実施し、検証後湯前町公式HPで公表する。
- ⑤ 事業実施期間
地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

- 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）の活用（内閣府）：
【E2001】

① 事業の名称

湯前町まち・ひと・しごと創生推進交付金事業

- ア 力強い産業としごとの創生事業
- イ 誇れる・選ばれるまち創生事業
- ウ 未来を担う若い世代の希望創生事業

② 事業の内容

- ア 力強い産業としごと創生事業

本町の安定した雇用を創出するため、主要産業である農業を中心に若い世代から高齢者までいつまでも元気に働ける仕組みづくりや制度の見直しを行う。また地域内消費・生産の仕組みづくりや、雇用の場の確保に注力する。

【具体的な事業】

- ・ 企業誘致事業
- ・ サテライトオフィス等進出支援事業 等
- イ 誇れる・選ばれるまち創生事業
本町の歴史・自然や特色のある景観の保全と活用を通して、町民一人ひ

とりが湯前町で暮らすことを幸せに感じ、自らの郷土を誇れるまちづくりを推進する。また、災害に強いまちづくりの推進や医療福祉の充実など、住民の住みよさ実感を向上させることにより移住・定住を促進する。

【具体的な事業】

- ・ 終着駅効果と地域資源を活用した若者が魅力を感じるまちづくり事業
- ・ 関係人口の拡大事業 等

ウ 未来を担う若い世代の希望創生事業

未来を担う若い世代が安心して結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい環境づくりや、障がいをもつ方が安心して生活できる地域共生社会の実現、高齢者の暮らしや健康づくり支援、湯前町の地域で支える仕組みづくりにより、子どもから高齢者まで誰もが必要な支援を受けられることで、規模ある町づくりを目指す。

【具体的な事業】

- ・ 民間企業を活用した出会いの場の創出事業
- ・ 学校給食費助成事業 等

※ なお、詳細は第3期湯前町総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年6月頃に外部有識者を含む「湯前町人口ビジョン・総合戦略策定委員会」により効果検証を実施し、検証後、速やかに本町公式でWEBサイト公表する。

⑤ 事業実施期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで